

ART OF IBARAKI

Ibaraki Ceramic Art Museum



近現代日本陶芸の巨匠たち 茨城県陶芸美術館

表紙では、茨城県陶芸美術館所蔵作品の中から、文化勲章受章者及び重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を中心に、日本の近現代陶芸を語る上で欠かせない作家たちの作品を紹介します。

十四代 酒井田 柿右衛門

じゅうよんだい しかいだ かきえもん

昭和9年(1934)ー平成25年(2013)

「濁手菊文花瓶」 にごしできくもんかびん

平成14年(2002年)

茨城県陶芸美術館蔵

h39.7×w36.0cm

柿右衛門窯は、江戸時代初期に色絵磁器の製法を日本で初めて開発し、有田焼を象徴する窯元として発展していきます。柿右衛門窯の作品の特徴に、一般的に白磁素地と比べ青みがなく色絵が美しく映える濁手素地を用いていることがあります。濁手素地の製法は、江戸時代後半に途絶えますが、1953年に十二代柿右衛門と十三代柿右衛門の手で復元され、その技術は1971年、重要無形文化財「柿右衛門(濁手)」に指定されました。本作品の作り手である十四代柿右衛門は、赤絵に余白の美といった柿右衛門窯の伝統を踏まえながらも、自ら写生した自然の山野草を伸びやかな筆遣いで描くことで独自の表現を追求し、2001年に重要無形文化財「色絵磁器」保持者に認定されました。

主な内容

- ▼ 関東地方整備局と意見交換
- ▼ 関東甲信越ブロック会議を開催
- ▼ 魅力ある職場づくりセミナー開く

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

大型補正の早期編成求める

関東地方整備局と意見交換会

本会は、国土交通省関東地方整備局や茨城県土木部と諸課題について話し合う意見交換会を9月25日に水戸市緑町の県立青少年会館で開催しました。国側に対し、大型補正予算の早期編成や地元企業の受注機会確保を要望したほか、i-Constructionにおける人材育成支援や週休2日制定着に向けたコスト増加への適切な対応を求めました。



泊関東地方整備局長



富永県土木部長



尾曾副会長



意見交換会の冒頭、関東地方整備局の泊宏局長は「インフラの整備や維持管理、災害時対応などを実行していく上では、地域建設業の皆さまの協力が不可欠」とし、「地域インフラサポートプラン2017を準備しており、皆さまの意見を参考にし、より良い方策を見出すために検討していきたい」とあいさつしました。

富永幸一県土木部長は「災害に強い県土づくり、安全安心で快適に暮らせる県土づくりを積極的に進める」とした上で、「公共工事の品質確保と地元建設業者の育成確保に配慮した入札契約制度改革に取り組んでおり、今後とも地域発展に貢献する県内建設業者の健全な育成を図りたい」と述べました。

本会からは尾曾正人副会長が「将来の担い手となる若年者の確保や生産性向上への対応、週休2日制の導入・定着など業界には課題が山積

しており、時代の変化に的確に対応していかなければならない。地域建設業が抱える課題をご理解いただき、業界の安定と発展のため、政策展開をしていただきたい」と話しました。

続いて、国側が本年度の入札契約、総合評価の実施方針や建設産業行政の最近の動きなどを説明。本会は建設ふれあい祭りin境の取り組みを紹介しました。

意見交換では、本会が用意した ◆業界の持続的発展のための補正予算の編成等 ◆地元業者の受注機会確保 ◆i-Constructionの取り組み ◆働き方改革（週休2日制の定着）のテーマに対し国側が回答する形式で討議。

このほか、本会から技術者のモチベーション向上に向けた、構造物への銘板設置対象工事拡大などを求めました。

受注機会確保と設計精度向上を

ICT講習や週休2日対応も 本会が要請



書類の簡素化などについて意見を述べる本会執行部

意見交換の内容

公共事業費予算の継続的な確保

【茨建協】

保証取扱高から見た本年4～8月までの県内累計請負高が前年度に比べ落ち込んでおり、この状況が継続するのではないかと危惧している。大型補正予算の早急な編成と平成30年度当初予算における公共事業費の大幅な増額確保、本県への配分増をお願いします。

【関東地方整備局】

今後は、ストック効果を重視した公共投資により経済成長を図り、経済再生と財政健全化の双方を実現するため、必要な公共事業予算を安定的・持続的に確保するよう努める。補正予算は、政府として編成の方針を固めたということは承知していない。政府全体の方針が固まれば、適切に対処していく。

地元業者の受注機会確保

【茨建協】

概略設計での発注案件が多く、施工計画書の作成に手間暇が掛かる。発注段階で精度の高い設計図書となるよう改善をお願いしたい。

【関東地方整備局】

概略設計については、赤黄チェックを実施するなど、工事発注前に諸条件を確認し、大幅な変更がないよう努めている。また、工事着手時には三者会議を行うなど施工の円滑化に向けた取り組みを進めているので、活用していただきたい。

【茨建協】

県や市町村の工事は受注してすぐに着工できるのに、国交省の仕事は着手までに時間が掛かる。設計の精度を高めていただきたい。

i-Construction の取り組み

【茨建協】

群馬県建設業協会が開催しているICT土工研修のような講習会の開催、またはノウハウ提供と開催経費の一部助成の検討をお願いしたい。

【関東地方整備局】

茨城 i-Construction 推進連絡会および関係部署においても議論し、開催場所や時期、カリキュラムを含め検討を進めていく。

働き方改革（週休2日制の定着）

【茨建協】

週休2日制を導入した場合のコスト増加に関して、一律ではなく、工事の実態・実績に応じた設計変更をお願いしたい。

【関東地方整備局】

全国的な内容なので、積算基準を取りまとめている本省関係課に伝える。

ノウハウ提供や費用助成を要望

—3次元データ作成講習会開催へ—

関東甲信越建協 地域懇談会・ブロック会議

本会を含む関東甲信越地方建設業協会会長会は10月4日、東京都内の経団連会館で開かれた関東甲信越地方ブロック会議に10項目の要望を提出し、国土交通省と意見を交わしました。その前に開かれた地域懇談会では「働き方改革や生産性向上を通じた建設産業の担い手確保と地域を支えるインフラの品質確保」と「地域建設業がその社会的使命をこれからも果たしていくために」をテーマに意見を交換しました。

ブロック会議の冒頭、関東甲信越地方建設業協会会長会の渡邊勇雄会長は「担い手確保・働き方改革などに建設業界が一体となって取り組んでいかなければならない」と強調し、建設業を取り巻く課題の対応へ意気込みを語りました。

続いて、国土交通省関東地方整備局の泊宏局長が「生産性を向上し、担い手の確保や定着につながるような働き改革の取り組みを進めて行く必要がある。地域インフラサポートプラン2017を議論し取りまとめており、プランを実行しながら課題に取り組んでいきたい」と話しました。

全国建設業協会の近藤晴貞会長は「建設産業政策2017+10が7月にまとまり、方向性が示された。地域建設業の健全で安定した経営基盤を確保していくために、安定的な事業量が切れ目無く確保されることが重要」と強調しました。

要望には、適正な予定価格および適切な工期設定、施工平準化や週休2日実施工事における現場管理費などの適正な費用確保、労務単価の引き上げ、i-Constructionによる建設生産シス



テム改善の取り組みのほか、技術者の責任感向上や若年者の入職促進といった担い手の確保・



本会も積極的に要望しました

育成への取り組み支援などを盛り込みました。

このうち本会は、建設業におけるICTの全面導入が進む中で、会員企業の人材育成をサポートしていくため、測量・施工・検査など全プロセスに関わる3次元データ作成手法を学ぶ研修講座を開催する必要性を訴え、講座開設に係るノウハウの提供や費用助成などを求めました。

賃金など処遇改善で人材確保を

若者に魅力ある職場づくりセミナー開催

本会は8月28日に、水戸市の県建設技術研修センターで「若年者に魅力ある職場づくりセミナー」を開催。会員企業の経営者など約140人の参加者は、賃金等処遇や労働時間・休暇、福利厚生などの課題への対策や助成金制度について学びました。

冒頭、小林伸行副会長は「人材を手放さない、離職させないことが大事。そのために魅力ある職場づくりを」とあいさつしました。

セミナーでは、社労士事務所T・E・Nの古川天代表が、若年者に魅力ある職場とするための具体策を明示。賃金等処遇に関しては、能力評価制度の導入やスキルや成果に応じた報酬制度の制定、賃金テーブルの整備などの必要性を説きました。



助成金制度などについても学びました

続いて、AK経営労務管理事務所の新津充久氏が、建設労働者確保育成助成金制度と人事評価改善等助成金の概要や注意点を説明。「面倒くさそう、内容が分かりづらいなどの理由から活用しない事業者が多いが、まずは実践してみましょう」と訴えました。

30%超えても設計変更可能

ガイドライン説明会開き認識共有

本会の土木委員会(梅原基弘委員長)は9月5日、水戸市の県建設技術研修センターにて「県土木部の設計変更ガイドライン説明会」を開催。会員企業や県土木部の職員など250人が参加しました。

このガイドラインは、これまでの設計変更の手続きを体系的に整理し、設計変更を適切に行うため、受注者・発注者双方の共通の手引書として県が昨年度に制定しました。

説明会では、県土木部が設計変更の可能なケースや手続き方法などについて説明。このうち、見込み金額が請負代金額の30%(5000万円以上1億円までは20%、1億円以上は主管課協議)を超える場合の設計変更について「一体施工の必要性から分離発注できないものについては、請負金額



設計変更の事例なども示されました

の30%を超えても設計変更が可能である」と強調しました。

講義終了後、梅原委員長は「会員企業の方々から、毎年設計変更に伴う質問や課題を生の声としていただいている。この声がガイドラインに盛り込まれたと思う。各企業の中で、ガイドラインの周知を徹底し、甲乙円滑に透明性の高い設計変更に努めていただきたい」と期待を込めました。

平準化へ20年ぶりゼロ県債

歳出予算は公共44億円
茨城県の10月補正予算案

茨城県の平成29年度10月補正予算案がまとまりました。主なものでは、来年度の公共工事の平準化を図るため、20年ぶりにゼロ債務負担行為(ゼロ県債)を設定しました。設定額は43億5500万円です【右表参照】。一般会計に追加する公共事業費は44億6500万円で、このうち(仮称)石岡小美玉スマートICアクセス道路など4カ所の道路改良に16億8200万円、東関道水戸線などの道路直轄事業に10億9400万円を配分しました。

10月補正予算案 主な事業計画箇所

【国補公共事業】▼道路=14億9200万円((仮)石岡小美玉スマートICアクセス道路ほか)▼道路直轄=10億9400万円(東関道水戸線ほか)▼治水直轄=4億5200万円(鬼怒川ほか)▼港湾直轄=4億5000万円(鹿島港)▼公園=3億500万円(洞峰公園ほか)
【県単公共事業】▼道路災害防除=1億7800万円(北茨城大子線ほか)▼河川防災=1億4000万円(山口川ほか)

債務負担行為一覧【一般会計】(新規)

事項	事業内容	期間	限度額
地方道路整備工事請負契約	一般国道245号、東海村白方地内外6カ所の地方道路整備に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	24億円
交通安全施設工事請負契約	一般県道大賀牛堀線、潮来市鳥塚地内外1カ所の歩道整備に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3000万円
橋梁補修工事請負契約	一般国道293号、常陸太田市高貴町地内の七段田橋の橋梁補修に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3000万円
舗装修繕工事請負契約	主要地方道茨城岩間線、笠間市安居地内外3カ所の舗装修繕に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	1億円
県単舗装修繕工事請負契約	主要地方道つくば古河線、八千代町水口地内外47カ所の舗装修繕に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	7億円
県単道路植栽管理工事請負契約	道路の植栽管理に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	1億7000万円
県単道路維持工事請負契約	道路の路面清掃に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	1億円
県単交通安全施設工事請負契約	道路の交通安全施設に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3000万円
県単水辺空間づくり河川整備事業工事請負契約	一級河川前川、潮来市潮来地先の河川堤防護岸の修景に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	450万円
県単砂防工事請負契約	峰岸川、北茨城市磯原町大塚地先の砂防に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	4000万円
港湾建設工事請負契約	茨城港日立港区の防波堤建設に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3億7000万円
県単港湾整備工事請負契約	鹿島港の浚深に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3000万円
街路改良工事費用負担契約	都市計画道路水戸駅平須線、水戸市常磐町地内の梅戸橋の街路改良工事に係る費用負担について、東日本旅客鉄道株式会社水戸支社長と契約を締結する。	自平成30年度至平成32年度	6億円
街路改良工事請負契約	都市計画道路十王北通り線、日立市十王町伊師本郷地内の街路改良に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3億2000万円
県単公園事業工事請負契約	大子広域公園内の施設の補修に係る工事請負契約を締結する。	平成30年度	3000万円

3名が功績賞、2社が優良賞

建災防全国大会で本会会員が受賞

10月5日と6日に開かれた建設業労働災害防止協会(建災防)の第54回全国建設業労働災害防止大会が北海道札幌市内で開催され、全国から4500人が集まりました。5日には総合集会在が催され、6日には部会の発表会などが行われました。

安全衛生表彰では、常総開発工業(株)の須賀利夫氏、田口建設工業(株)の田口恵一郎氏、鈴縫工業(株)の田所広文氏が功績賞を受賞したほか、(株)小倉工務店、(株)進貢が優良賞の栄に浴しました。おめでとうございます。ますますのご活躍を祈念いたします。



大会では一層の安全対策徹底を誓い合いました

BCPのポイント学ぶ

4会場で130人参加

本会は、9月21～29日にかけてBCP（事業継続計画）策定に係る説明会を開催しました。県土木部が平成30年度の総合評価ガイドライン改正時に評価項目「災害時の基礎的事業継続力（BCP）の認定」の追加を検討していることもあり、潮来・土浦・常総・水戸の4会場で計130人が参加。BCP作成に取り組む際のポイントを学びました。



PC業務のコツ習得

スキルチェックセミナー開催



本会は、県建設産業団体連合会と合同で「電子納品 Windows スキルチェックセミナー」を開催し、8月29日～9月1日の4日間で約50人が参加。Windows10の基本設定から、電子納品をスムーズに行うための現場データ管理方法、クラウドサービスの活用まで、効率の良いPC業務のコツを習得しました。

会員の動向

〈代表者変更〉

- ▽ 水戸支部
六美建設(株) 清水 正美 → 清水 慎一
- ▽ 筑西支部
玉造建設(株) 玉造 良一郎 → 玉造 茂

銚田支部
活動報告

安全衛生大会で 災害ゼロを誓う



銚田支部（羽生義隆支部長）による安全衛生大会が9月5日に同支部開館で開催され、鹿嶋労働基準監督署や、県銚田警察署による講演が行われたほか、安全スローガンを唱和し、参加者全員で労働災害撲滅を誓い合いました。来賓祝辞では、県銚田工事事務所の川崎正博所長が「事故の未然防止には、一人一人の高い意識が大切」とあいさつしました。

ちよつと言



夜、車を赤信号で止めた時、後ろのヘッドライトを見ると、車にもいろいろな表情があることがわかる。目と眉がキリッとして、熊と相撲を取って踏ん張っている金太郎さんのような凛々しい顔。やはりキリッとして、理知的でクールな感じのハンサムボーイ。丸みを帯びた、ちょっと可愛らしいひょうきん者。いろいろな顔があるが、帰り道にお気に入りの顔に会うと嬉しくなる。今度はどんな新しい顔に出会えるか楽しみである。 (A)

観て! 触って! 体験して!

建設フェスタ 2017

国内最大級



先端技術体験



親子競演 丸太切り!



消波ブロックを作る!



高所作業車に乗ろう!

建設機械を動かそう!



平成29年 **10月29日**

時間 9:00 ▶ 15:30 小雨決行

イベント会場 **笠松運動公園屋内水泳プール西側特設会場**
茨城県ひたちなか市佐和21197-28

※入場開始の有無については、茨城県建設協会HPでご確認ください。(www.ibaken.or.jp)

ミニ上棟式

【各コース】14:30~ 【対象】4歳児~小学6年生
(天候により中止または時間の変更あり)

みなとクルーズと展望ハウスから見る
常陸那珂港区見学ツアー

【午前便】9:50出発 【午後便】12:30出発
(天候により中止または時間・行程の変更あり)

ステージイベント ※イベント内容は予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

- 9:00 開会式
- 9:45 親子競演 丸太切り(午前)
- 10:55 園児演奏会
- 12:00 親子競演 丸太切り(午後)
- 13:25 クイズラリー抽選会
- 14:30 ミニ上棟式(まきもち)

ステージ以外のイベントも盛りだくさん!
詳しくは裏面をご覧ください。

入場無料 無料駐車場完備



会場: 建設フェスタ2017会場 (ハッスル黄門)

お問い合わせはお気軽に下記の電話番号まで!

■ 茨城県土木検査指導課

☎ 029-301-4370

www.pref.ibaraki.jp/soshiki/doboku/kensa/index.html

■ (一社)茨城県建設業協会

☎ 029-221-5126

www.ibaken.or.jp

■ イベント前日当日のお問い合わせ先

☎ 080-3460-7450

☎ 080-3720-7460

詳しくはWEBで!

建設フェスタ